

# グローバル化と仕事の世界

## 使用者の立場から



金 榮培 (経済学博士)

# 目次



1. グローバル化の概念と状況
2. グローバル化による経済的・社会的影響
3. 将来的に望ましい方向

# グローバル化の概念

グローバル化：世界経済の統合の過程



情報通信技術

国際貿易量

開発途上国における貿易量/GDP:  
33.8%(1990年) → 48.9%(2001年)

海外直接投資

US\$ 3,240億(1995年) → US\$ 1兆5,000億(2000年)

短期資本移動

US\$ 600億/日(1983) → US\$ 1兆5,000億(2001年)

# グローバル化による経済的・社会的影響



〈表 1〉 主要地域における失業率

(単位:%)

地域	1987	1993	1997
西欧	10.4	10.6	10.5
米国	6.2	6.9	4.9
日本	2.8	2.5	3.4
アジア	4.3 (1990)	4.4	4.2 (1996)
中南米	5.7 (1990)	-	7.4

注:表中の「アジア」に日本、中国、インドは含まれていない。

出典:ILO、1998年

# グローバル化による経済的・社会的影響



〈表2〉 先進工業国における所得格差(D9/D1)の傾向

年	米 国	英 国	スウェーデン	ドイツ	フランス
1980	3.26	2.79	2.04	2.69	3.26
1990	3.96	3.29	2.01	2.51	3.26
1995	4.35	3.38	2.13	2.32	3.28

注:D1およびD9はそれぞれ最低および最高の所得階層を表している。

出典:ILO、1998年

# グローバル化による経済的・社会的影響



〈表3〉 最も豊かな国家と最も貧しい国家における  
1人当たりGDP

(単位:US\$、倍)

	1960 - 1962	2000 - 2002
最も貧しい20カ国(A)	212	267
最も豊かな20カ国(B)	11,417	32,339
比率(B/A)	53.9	121.1

出典:世界銀行、2003年

# グローバル化による経済的・社会的影響



〈表4〉 韓国における事業所の規模別にみた賃金格差

(単位:千韓国ウォン/月)

	1985	1990	1995	2000	2001	2002	2003
中小企業 (従業員数 10~29人)	308 (100)	549 (100)	1,082 (100)	1,497 (100)	1,606 (100)	1,705 (100)	1,808 (100)
大企業 (従業員数 500人以上)	344 (111.7)	741 (140.0)	1,511 (139.6)	2,195 (146.6)	2,313 (144.0)	2,718 (159.4)	3,043 (168.3)

注:( )内の数字は中小企業と比較した場合の比率

出典:韓国労働部「毎月労働統計」各年

# グローバル化による経済的・社会的影響



〈表5〉 韓国の製造業における事業所の規模別にみた収益性

(単位:%)

	売上高経常利益率		売上高営業利益率	
	2002	2003	2002	2003
大企業	5.4	6.0	7.5	8.2
中小企業	3.4	2.5	5.3	4.6

出典:韓国銀行



# グローバル化による経済的・社会的影響



- 実際は、
  - グローバル化への適応に失敗したことで、経済的な不公平性が生じた。
  - グローバル化は概して人類の繁栄を後押しした
  - グローバル化は雇用創出、生産性向上、経済成長を促した
  - 世界の総生産額は過去50年間で10倍に増加し、1人当たり所得は人口激増のなかで3倍に増加した。

# 韓国におけるグローバル化



- 韓国におけるグローバル化に対する障害
  - 不安定な労使関係
  - 硬直した労働市場
  - 過度の行政介入および規制
  - 高い管理費と人件費
  - 高すぎる住居費
  - 季節労働者に対する労働組合の排他的態度
  - 労働運動家や市民団体による反グローバル化感情

# グローバル化に対処するための手がかかり



法律・制度面  
での変化

認識・習慣・  
行動面での変化

グローバル化  
への適応